

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2016-03-25

# APM news 147

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

長岡造形大学 地域協創演習 in APM

「すずめ隊」

履修者:石坂真奈美、伊藤理穂、内田一秋、下平美里(長岡造形大学3年)  
指導:たかだみつみ、御法川哲郎



昨年度から実施している、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) と長岡造形大学 (造形大) との連携授業「地域協創演習」に今年度は4名の学生が参加した。地域協創演習とは、造形大独自のカリキュラムであり、地域社会及び企業と、学生・教員が力を合わせた知的価値、地域価値、企業価値を創造することを目標に掲げている。APMにおける地域協創演習は、学生チーム「すずめ隊」として、年間を通してAPMの活動をサポートする。APMの活動に参加・実践することで、美術館の本質を学ぶことを目的としている。

基本的にAPMが今年度行なった全ての企画に参加したが、今年度のすずめ隊の活動の主軸は、APMワークショップとした。当日のサポートスタッフとして参加するだけでなく、事前の企画会議、準備、参加者集め、片付けまで、ワークショップに関わる一連の動き全てに関わり、APMが掲げるワークショップ憲章への理解を深めた。集大成として、10月17日(土)にすずめ隊中心のワークショップを行なった。企画、準備、当日の進行までの全てを彼ら自身で行なった。普段のワークショップを運営しているAPM学芸員・たかだみつみは指導役に徹した。

まず、全員に企画書を提出させ、その中から最もAPMワークショップ憲章に沿った企画を選び、それを元に意見交換を重ね、企画をブラッシュアップしていった。今回実行した企画は「技法で絵本〜ふしぎ!左右対称の絵本をつくらう〜」と題し、デカルコマニーという絵画技法を使用し、色を学び、作品を本という形に昇華するという内容であった。(詳しくはAPM Workshop news 010を参照) 1つのことを実行するには、想像以上に事前準備に時間、労力が必要であること。人を集めることの難しさ。複数人を相手に予定通り進行することの難しさ。チームの中での自分の役割の見極めなど、実体験を通して学んだことは多いのではないだろうか。

その他の企画では、会場設営、受付、片付けなどを行なった。美術館大学では、サポート活動だけではなく聴講し、ポスターの美・表現について学んだ。

APMは様々な人が関わっている。ワークショップへの参加者は子どもが多いが、美術館大学・懇親会では大人が主となる。また、周辺地域の方、遠方からいらっしゃる方、多摩美術大学の学生など、職業や年齢も多岐に渡る。普段の彼らの生活圏には無い環境や人々と接することで、良い刺激を受け、吸収し、表現活動や社会へ出た際に活かされるはずである。

「すずめ隊」は来年度以降も続いていく予定だ。まだ始まったばかりのチームであるが、APMの強力な新たなサポートチームとして定着していくことを目指している。(たかだみつみ・APM学芸員)